

LIBRARY

大社高校
図書館だより
R4.2月号

わたしの1文、紹介します。 1年生編 (次回は2年生編)

冬休み課題として、1・2年生にはこれまで読んだ本の中から心に残った1文を紹介してもらいました。Classroomで配信予定でしたが、諸事情により、図書館だよりでの一部掲載に変えます。ぜひ読んでみてね！



自分で夢を見ろ、でかい夢を見てみる。

・『一瞬の風になれ 第2部』 佐藤多佳子 講談社 (1年1組)

中学の時に読んで本気で陸上をやるようになったきっかけの本です。高校から陸上を初め、中々速くならなかったり自分より速い人がいることに苦労しながらも努力をしながら速くなっていく物語です。主人公が、この一文を主人公に言った先生、自分よりも遥かに足の速い天才など様々な人との関わりによって人間的にも競技力も成長していきます。スポーツとはなんなのか努力、強くなるってどういうことなのか改めて考えさせられる本となっています。

予測できる境界線の先を見たければその場にとどまるのではなく、前に進まなくてはならない

・『Think clearly』 ロルフ・ドベリ サンマーク出版社 (1年1組)

これは臆病な自分にとっても刺さる言葉でした。だいたいいつも私は考えてばかりで、保守的な考えをもちながら生きて来て、行動に移すときというのは大体予想がある程度つくときだけでした。だけど、この言葉のおかげで、行動すれば信憑性100%の事実を得られることに気がきました。この本にはたくさんのより良く生きていくための考えが書いてあり、読むと不思議と悩みがちっほけに感じるようになりました。

「一番いけないのは自分なんかだめだと思ひ込むことぞ」

・『ドラえもん』 藤子・F・不二雄 小学館 (1年2組)

これはあることで悩んでいるドラえもんへのび太がかけてあげた一言です。この一言に心を動かされたのは、これからの人生でいろいろな困難が現れてたくさんの悩みが出来ると思ったからです。もし、いろいろな悩みが出来る何かに行き詰まってしまったとしてもこの一言を思い出して前向きに生きていきたいと思いました。

「作った本人が好きで楽しんで情熱を込めて作ったものってね
それを見た人も楽しくなっちゃうものなんですよ」

・『ブルーピリオド』 山口つばさ 講談社 (1年2組)

絵を描く時に思い出しては背中を押してくれる言葉です。この言葉の後に「これはキレイ事じゃなくて本当に」と続くのも好きです。自信を持って描くことを楽しもう！と思えます。

幸せとは、自分が嬉しく感じたり楽しく感じたり、大切な人を大事にしたり、自分のことを大事にしたり、そういった行動や言葉を、自分の意思で選べることです。

・『また、同じ夢を見ていた』 住野よる 双葉社 (1年3組)

この本は物語の主人公である小柳奈ノ花という女の子が国語の授業で出された「幸せとは何か？」という問いに対して答えを見つけた物語です。「幸せ」という言葉を深く考えたことなかった私になるほどと思わせる奈ノ花さんの回答に心を動かされたなと思いました。

失った物ばかり、数えるな。無いものは無い

・『ONE PIECE』 尾田栄一郎 集英社 (1年3組)

このコロナの世の中で大切なことだと思いました。自分がやりたかった事、楽しみにしていたものがコロナで無くなり、誰もが悔しい思いをしていたと思います。その時に過去を後悔したり、悔やんでいても何も得することは、無いという事を気付かされる1文だとおもいました。

「言葉は、自分の存在以上の力を持って戻ってくる」

・『伝える準備』 藤井貴彦 ディスカバー21 (1年4組)

私はよく友達や家族にお手紙を書くことがあります。するとそれを読んだ人たちは、「おかげで元気がでたよ」「感動したよ」など嬉しい言葉が返ってきます。私がかける言葉が相手にどう伝わるのか、どのように思ってもらえるのかを考えて言葉を送るようにしています。言葉は人の心に響くものだからこそすてきな言葉で相手を思い、伝えることが大切だと思えます。自分の生んだ言葉たちがいい仕事をしてくれて、相手に届くことがとても幸せです。

「死ぬ準備はできた。だからあとは精一杯、生きてみるよ。」

・『余命10年』 小坂流加 文芸社 (1年4組)

主人公はある病気によって、余命が10年しかありません。残された時間が少ない中、主人公が呟いた言葉です。死ぬことへの恐怖を覚悟に変えて、懸命に生きようとしている主人公の強さに心を打たれました。生きるということ深く考えさせられた言葉です。



「両方とも、わたしです」

・『ソードアート・オンライン オルタナティブ ガンゲイルオンライン IX -フォース・スクワッド・ジャム (下)』時雨沢恵一 KADOKAWA (1年5組)

表向きの顔、裏の顔そんな言葉がありますが、どちらが真の自分なのか？その問い掛けに対して導き出された一つの答えだから。友達の前の自分。先生の前の自分。家族の前の自分。多種多様な自分を全て受け入れてくれる、包容力味わわせてくれる1文です。



**迷いが出た時、身近な頑張っている人を見る、
それで勇気がもらえる。**

・『心を整える』長谷部誠 集英社 (1年5組)

僕もサッカーをしていていろいろ悩んだり迷ったりすることがあるけど、その時に頑張っている仲間をみて勇気をもらい、励まされることがあるので、この言葉にとっても共感できた。この本はサッカー日本代表の長谷部選手の日々思っていることをまとめた本で、生きていく上でためになる本だと思う。メンタル面の成長はサッカーのレベルの向上につながっているのでメンタルの強さを身に付けたいと感じた。



**悪いところは見えるもの
良いところを探さないと見つからないもの**

・『きっと明日はいい日になる』田口久人 PHP 研究所 (1年6組)

この一文を読んだときに「確かに」と思いました。人にはそれぞれの考え方や特徴があり、全て完璧な人はいないと思うので人を嫌いになってしまうことはあるかもしれないけど、私はこの一文を見たときに無理に人を好きになろうとするのではなく、その人の見えなかった部分が見えてしまったときに「それもその人なんだ」という、受け止める自分を作っていこうと思うことができたからです。



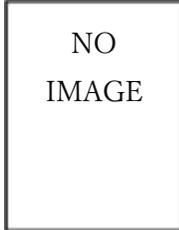
**過ぎたことにこだわるな。
大事な今は、そしてこれからだ。**

・『クロスゲーム』あだち充 小学館 (1年6組)

部活などで上手いかなかった時とか過去の栄光みたいなものに浸って現実を受け止められないでいるときに、過去ばかり見ているも何も変わらないってことを気づかせてくれたものです。この言葉のおかげで、どんなに逆境だって前を向いて立ち向かうしかないのだと思い、立ち上がったからです。

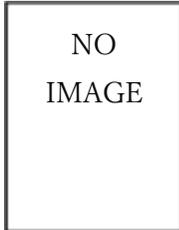
NEW BOOK

大社高校図書館
の蔵書検索・予約
はここから。→



・N 道尾秀介 集英社

6つの章から構成されているが、読む順番はあなた次第。そしてその順番によって、物語の結末は一変する。あたらしい小説の世界をあなたに。



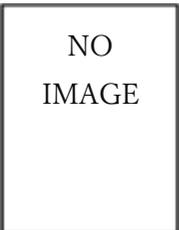
・犯人は僕だけが知っている

松村涼哉 KADOKAWA
小さな街の高校で、次々と失踪者が…。家出と思われていたが、死体が発見され、事態は一変する。



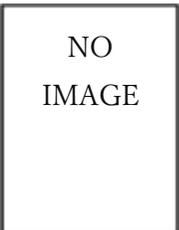
・桜風堂夢ものがたり

村山早紀 PHP 研究所
「会いたかったひとに会える奇跡」があるなら、あなたは誰に会いたいですか？小さな町の書店と、そこに関わる人々を描く。



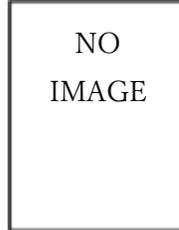
・昔話法廷 season 5

金の星社
鬼退治と称して、鬼ヶ島に上陸。鬼を襲撃し、財産をうばった桃太郎を死刑にするか、しないか。大人気シリーズ5弾



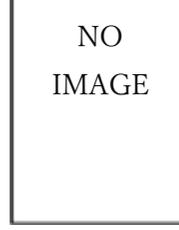
・訪問看護師という生き方

森元陽子 幻冬舎
病院勤務では得られない、訪問看護師として働くことのやりがいとは。看護師の新しい働き方を紹介。



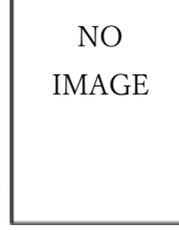
・球技のためのスポーツ
ビジョントレーニング

石橋秀幸 メイツユニバーサルコンテンツ
各種球技種目に有効な「視る力」の鍛え方。広い視野と感知力を身につける。



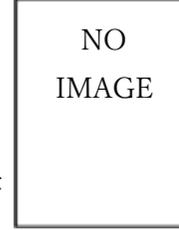
・一晩置いたカレーはなぜおいしいのか

稲垣栄洋 新潮社
料理と食事がもっと楽しくなる「おいしさの秘密」とは。食材と料理のサイエンス！



・THE COFFEE BOOK

誠文堂新光社
コーヒー好きにはたまらない！？ コーヒーの歴史から、おいしい淹れ方・各生産国のコーヒー紹介まで。



・韓ドラ語辞典

誠文堂新光社
韓国ドラマをもっと楽しむための、「韓ドラあるある」や歴史・社会問題などが学べる楽しい入門編。



・ねこのおてて

パイインターナショナル
まるくてかわいい猫の「おてて」だけを集めた写真集。「かわいい」「癒される」社高生にも大人気！